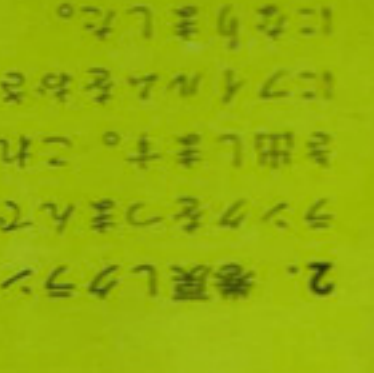




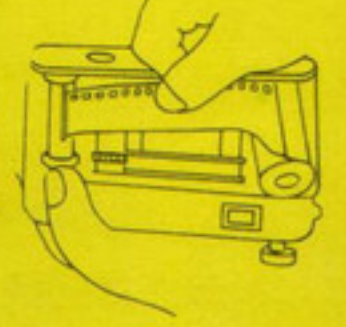
1. 裏蓋をあける カメラ前面の、裏蓋
フックの力で開きます。(フイルムはパ
トロー入りの35ミリフイルムを使用し
ます。)



2. 巻戻しクラッチを引出す 巻戻しク
ラッチをつまんで、止まるまで引
き出します。これでパトローホックがス
トローをおさめることができるよう
になります。



4. フイルムを少し巻いてみる フイル
ムをパトローホックに納めたら巻戻
しクラッチを元に戻し、巻取りスプー
ルの爪に指をかけて、フイルムを少し巻
いてみます。



3. フイルムの先端を巻取りスプールの溝
にさしこむ フイルムの先端を巻取りスプ
ールの溝にさしこみ、パトローホック
(フイルムの爪)を溝の凸起にひっかけ
てはずれないようにします。



5. 裏蓋を閉める パトローホック
(フイルムの爪)とパトローホックの歯
が完全に噛み合っているのを確認した上
キッターを切る操作を2
回繰り返して、撮影直前に
もう一度巻上げます。



6. フイルム枚数計のS印を合わせる
フイルム枚数計のボウチに爪をかけた時
計の方向に回し、S印(スタートマーク)
を赤点の指標に合わせます。

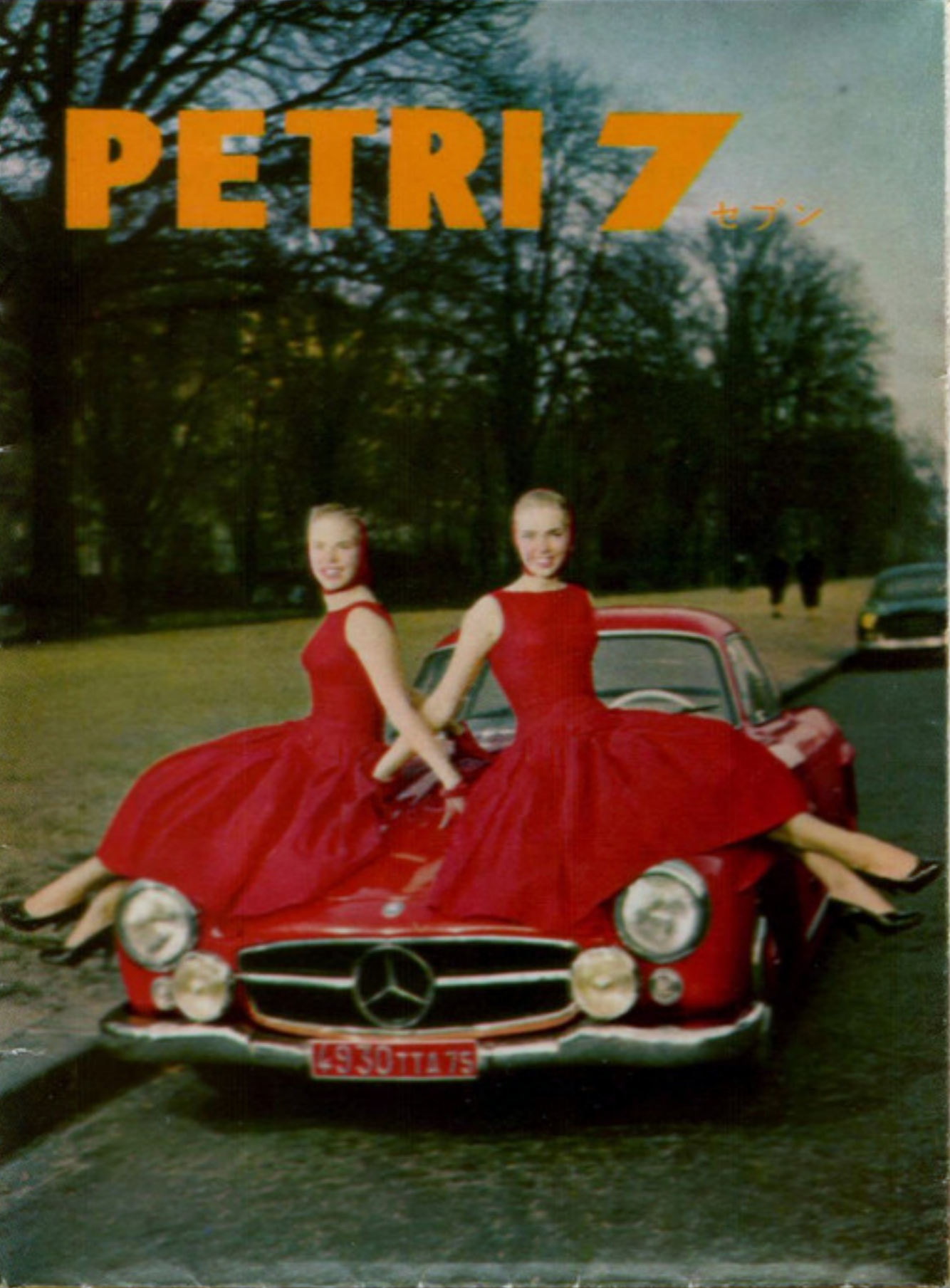


7. 空写しを2回行う
フイルムの出し方 カメラ底部のリターン
ボタンを押したまま、巻戻しクラッチを起
して矢印の方向に回し、フイルムをパト
ローホックに巻戻します。巻戻したら裏蓋を開け、
巻戻しクラッチを引出してパトローホックを起
し出します。

撮影で大切なのはピントと露出、
その両方共、ファインダーの中で
自動的に合わせられるのが、
あなたのペトリ7です。
写真のことは何もご存知なくても、
お子さまにも、ご婦人にも、
ねらった通りの写真が、
ベテランと同じように必ず写せる、
それがあなたのペトリ7です。



カメラ
¥12,500
ケース
¥1,600



PETRI 7 セブン



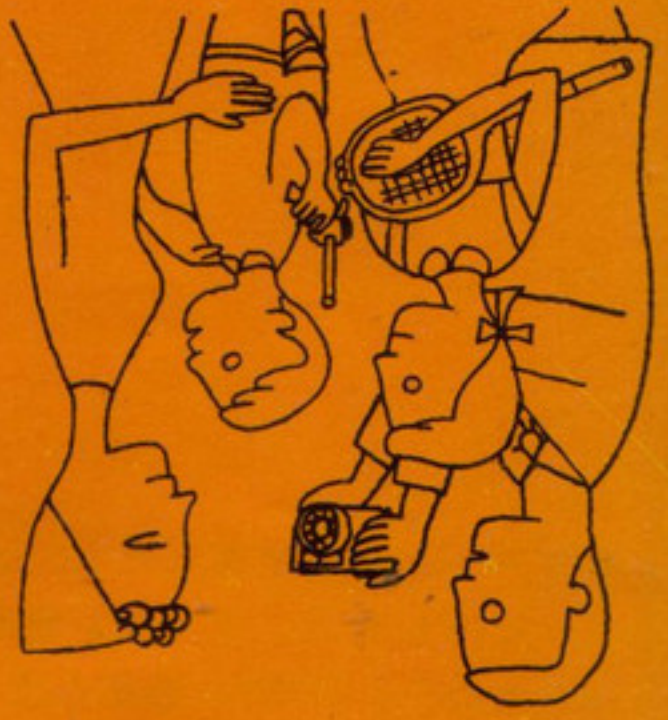
ペトリカメラは当店で

ペトリカメラ 東京センター 東京都千代田区九段2-5
電話(331)9981 (お問合せ先)
ペトリカメラ 大阪センター 大阪府南区鶴谷西ノ町11-4
(6月上旬開設予定)
業林写真工業株式会社 東京・ニューヨーク・カナダ・オランダ



家中でのしめるペトリ7

あなたのレジャータイムを充実させる名マシン
それはペトリ7を活用させていただくことです。
「この価格でよくまあこれだけのカメラができる
ものだ」とペトリ7をごらんになった方は驚か
れるかも知れません。でも、これはペトリの工場
が近代的コンピュータシステムを採用して
全工程を社内一貫作業によって製作しているから
と申し上げれば、なるほど納得していただける
と思います。



ペトリ7はどなたが写しても絶対に間違いない
カメラです。よく写る35ミリ
から、1台で
ご家族全部がた
のしむことさえ
できるのです。
例えばこんな会
話が、今日もど
こかのご家庭で
かわさっている
のではないでし
ょうか。

ペトリ7のバ、全紙に引伸したってピクともし
ない、すばらしい解像力のレンズだということか
いで済むので、作画に専心できるのもペトリ7だ
からこそといえるね。
しろうとのマツ 機械のことは一切にが手、でも
子供の成長の記録は私の手で、と思っています。
ですから操作はなるべく簡単で、必ずよく写るカ
メラがほしかったのですが、ペトリ7はそんな条
件にピッタリです。面倒な数字のことは分らなく
ても、フライスターをのぞきながら指針を合わせ
るだけで、いつも調子のよい写真が写せるので
すから……。
おしゃれな姉さん このごろのカメラは若い人た
ちのフクセサリーといった感じが大切と思うわ。
新鮮なフザイソ、それにフランクな感をプラスし
たペトリ7は、私たちの気持ちにすごく合っています。
乱暴なボク コウシ屋と異名をとるボクが使って
も、ペトリ7はこれがない。ボチーががんばら
にできている上に、フライスター部分がショック
に対して強くできているからだとということなんだ
ね。



カラー撮影にも絶好

ペトリ7のレンズは、黒白フイルムにも適す
るすばらしいレンズです。あらゆるままでも
収差を取除き、開放のままでも
極めて高い解像力を示すように設
計されています。その上ペトリ独
特のフズコーティングによっ
て、カラーの効果は最高に発揮さ
れます。
最近ではカラーフイルムも高感度
のものが一般に使われるようにな
りましたので、戸外撮影ばかりで
なく、室内でも夜間でも、ペトリ
7のレンズで十分に写せるように
なりました。

また、カラー撮影は露出のきめ
方がむずかしいといわれています
が、その点露出計運動のペトリ7
なら露出の心配は全く不要です。
露出のことなら安心してカメラに
まかせられます。

ペトリ7セブン 七つの魅力

- ①絞り、シャッターに完全連動するサークル・アイ機構の電気露出計組込ファインダーをのぞいたまま、正しい露出を自動的にきめられます。
- ②明るく見やすいブライツフレームのグリーン・オ・マチック・ファインダー 暗い被写体でもはっきり見えるグリーン・オ・マチック・システムです。
- ③シャープな準広角レンズ 定評のある高解像力のペトリF2.8 45mmレンズは、カラー撮影にも好適です。
- ④軽快なペトリMVEシャッター B、1~1/500秒の倍数系列。シャッターの圧力が軽いのでカメラぶれをしません。シンクロMX切換接点内蔵。
- ⑤便利なセルフタイマー内蔵 記念撮影には是非必要な装置です。
- ⑥迅速な操作ができる巻上げレバー 1作動180度回転の巻上げレバーはカメラを構えたまま、操作できます。
- ⑦スマートな近代的デザイン 型の上さに一分のスキもない機能がプラスされた、グッドデザインのカメラです。

ペトリフ セブン の使い方

●フィルムを装てんしたら、フィルム感度表示レバーに爪をかけ、フィルム感度表示窓に使用フィルムのASA (DIN) 感度を出しておきます。
●これで準備完了です。被写体に対したら、次の順序で操作して下さい。

- ①レンズキャップをはずす
 - ②シャッター速度をきめる
 - ③フィルム巻上げレバーを巻上げる
 - ④ファインダーをのぞきながら、絞りのリングを回して露出計の指針を指標に合わせ、フォーカシングレバーでピントを調節、更にブライトフレームの中で構図をきめる。
 - ⑤シャッターリリースボタンを押す
- 以上の操作を撮影枚数だけくり返し、全部写し終わったらフィルムを巻戻して取出します。



ピントの合わせ方

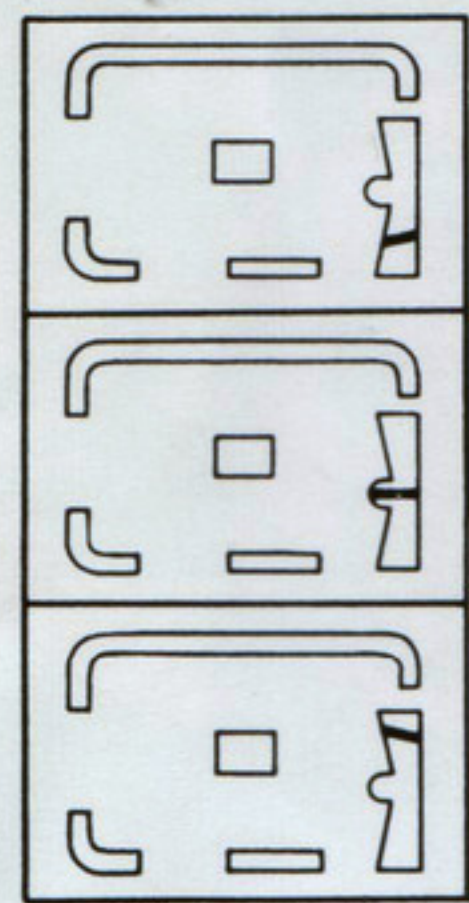


ファインダーをのぞきながらフォーカシングレバーを動かすと、視野の中央部に見える二重像の一方が動きます。この二重像を合致させればピントも合ったことになります。

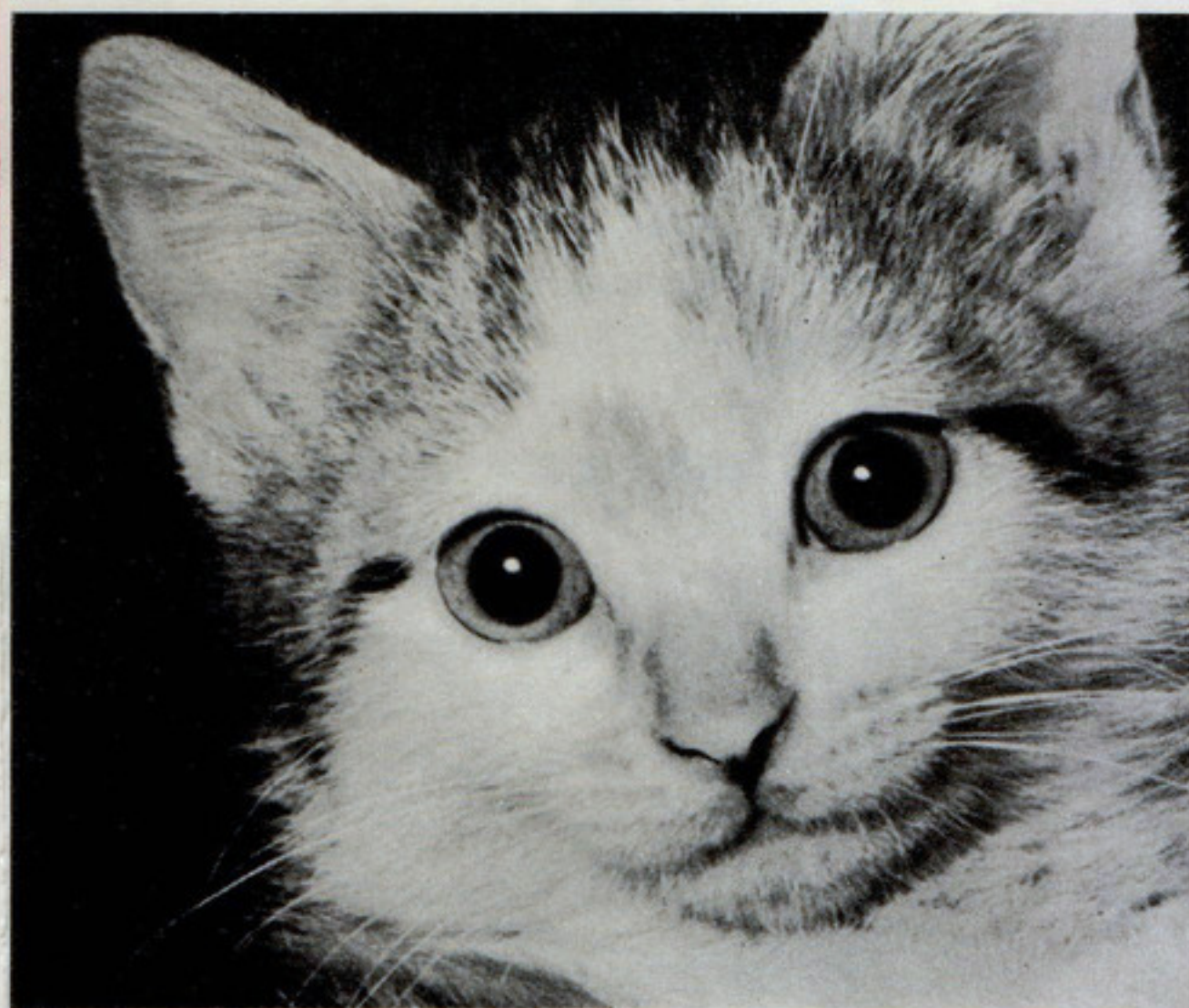
連動露出計の使い方

高性能光電池使用の反射光式電気露出計はフィルム感度、シャッター速度、絞りに完全連動します。ASA 露出指数系列は10、16、25、32、50、100、200で、その連動範囲はASA100のフィルム使用の場合、L.V. (ライトバリュー) 7~L.V. 17という広さです。露出計の操作は次の順序で行います。

- ①使用フィルムのASA感度を予めフィルム感度表示窓に出しておきます。
 - ②シャッター速度ダイヤルを回して、希望の速度にセットします。
 - ③被写体に向けてファインダーをのぞきながら、絞りのリングを回すとファインダー視野の右下に見える指針が動きますから、これを指標に合わせます。
- 絞りから先にきめても構いませんが、シャッター速度は目盛の中間では使えません。
- フィルター使用時にも露出倍数を考慮する必要がありません。



セルフタイマーの操作・セルフタイマーレバーを止まる所まで引き、リリースボタンを押せば約8秒後にシャッターが切れます。このセットはフィルムを巻上げる前でも後でも構いません。シンクロ撮影でセルフタイマーを使うにはX接点を用います。



フィルム巻上げレバー

180度回転の1作動巻上げでフィルムが1コマ巻上げられ、シャッターがチャージされます。シャッターを切らない限り再び操作できません。

フィルム枚数計

撮影枚数を表示するもので、フィルム装てんの際に一度合わせれば、あとは自動的に1目盛ずつ進みます。

シャッターリリースボタン

シャッターの圧力は200gで非常に軽く、カメラぶれのおそれがありません。中央にケーブルリリース用の穴があります。

シンクロMX接点切替レバー

M級の閃光電球によるシンクロ撮影時にはM接点、ストロボ撮影時にはX接点にもセットするためのレバーです。

シャッター速度目盛

このダイヤルを回して、希望のシャッター速度目盛を指標に合わせます。各目盛はクリックストップになっています。

距離目盛

被写体までの距離を指示する目盛で、メートルとフィートで示されています。

アクセサリシュー

フラッシュガンなどを取り付け、固定させるための金具です。

フィルム巻戻しクランク

写し終わったフィルムを巻戻すとき、中央のクランクを起して、カメラ底部のリターンボタンを押しながら矢印の方向へ回転します。

グリーン・オ・マチック・ファインダー

二重像合致式の距離計が組込まれたファインダーで、特殊クラウンガラスを使ったグリーン・オ・マチック・システムです。

絞り目盛

絞りのF値を示す目盛で、このリングを回して指標に合わせます。露出計に連動しています。中間目盛でも使えます。

フォーカシングレバー

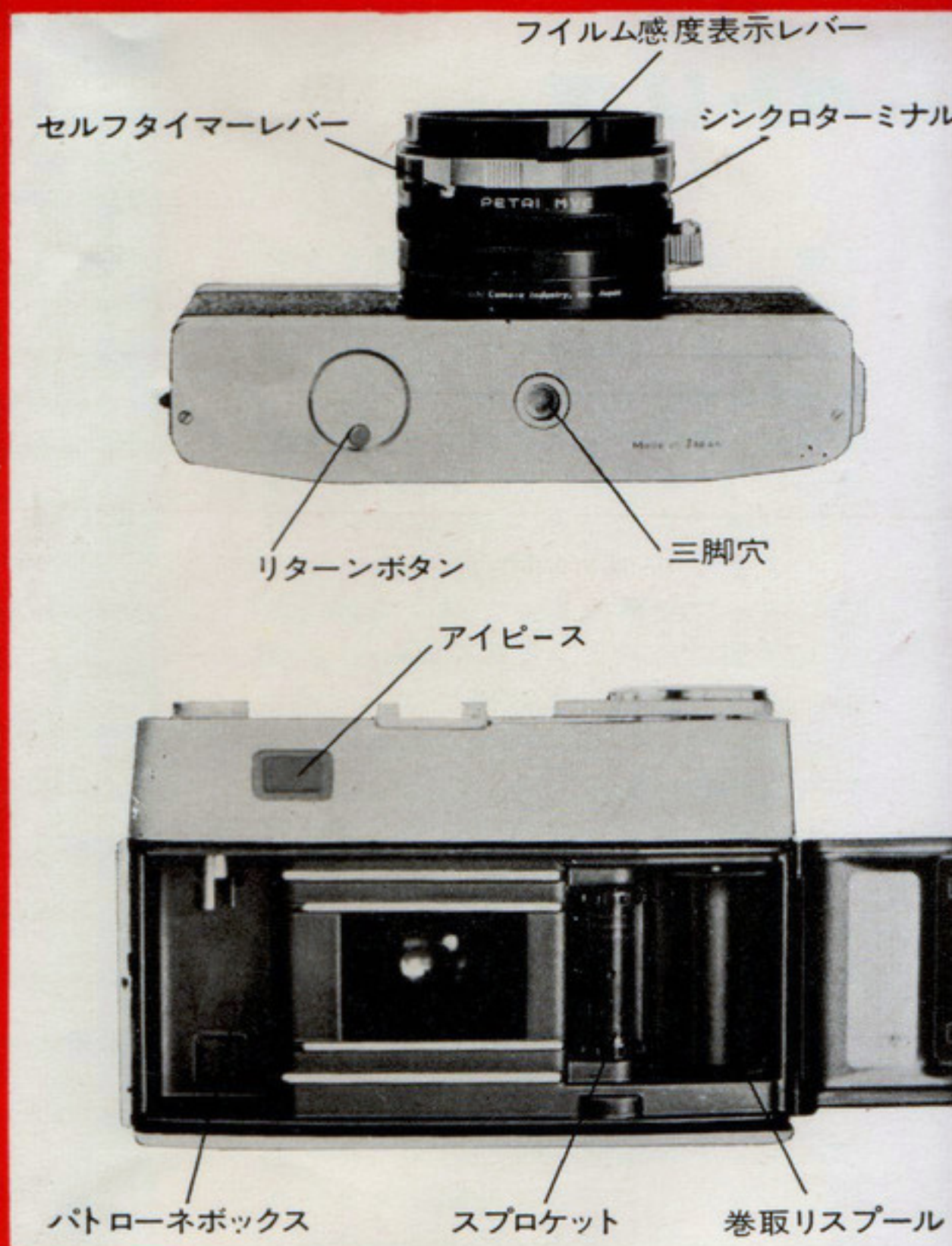
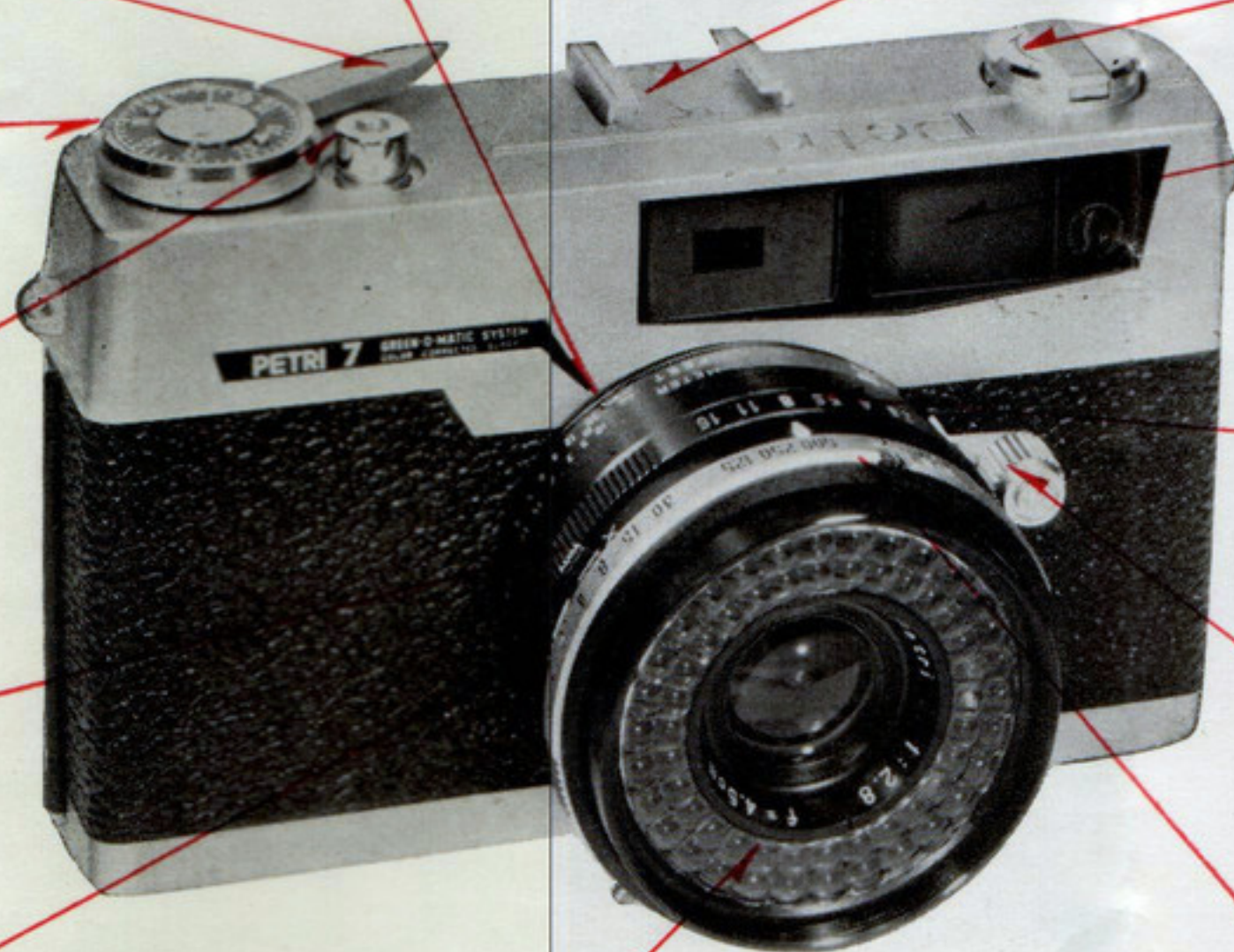
ヘリコイドリングを動かして、ピントを合わせるためのレバーで、ファインダー内の二重像はこれに連動しています。

フィルム感度表示窓

装てんしたフィルムのASA (DIN) 感度をこの窓に合わせておきます。この調節は鏡胴下部のフィルム感度表示レバーで行います。

サークル・アイ式露出計受光部

フィルター使用時にもオートマチックに働く露出計受光部。



シンクロフラッシュ撮影

シンクロフラッシュ撮影を行うには、フラッシュガンのコードをシンクロターミナルに接続します。小型のフラッシュガンならアクセサリシューに取り付けられます。

閃光電球はM級を用い、M接点にしておけば全速度に同調させることができ一番有効な使い方です。X接点では1/50秒までしか同調しません。F級の閃光電球を用いるときはX接点に合わせて、1/50秒までの速度で写さなければなりません。(F級にM接点は同調しません。)

ストロボ撮影ではX接点で全速度に同調します。(ストロボにM接点は同調しません。)

正しい構え方

両手でしっかりカメラを持ち、カメラの背部をひたいなどにぴったりつけて安定させます。



アクセサリ ベトリフード

スマートな丸型、止ネジ式レンズフードで、内面反射防止が完備ですから、美しい写真を撮るためには是非用いたいアクセサリです。美しい皮ケースに入っています。

¥ 800 (ケース共)



ベトリフィルター
UV 紫外線カット用フィルター
Y1, Y2 黄色系で戸外人物や風景を自然な感じに写します。
YA3 橙色フィルター。遠景のコントラストをつけるのに用います。
R1 赤色フィルター。強調用。
カラー用フィルターとしてW4 (温調用)、C4 (冷調用)、C8 (フラッシュ用)、C12 (写真電球用)。

Y1, Y2, YA3, R1

PO1 ¥ 850

UV ¥ 950

カラー用 ¥ 1000

(フタ付き・ケース共)



ペトリ7被写界深度表

(ペトリ F 2.8 45mm)

FNo \ Feet	2.8	4	5.6	8	11	16
2.75	2.87 2.64	2.92 2.59	3.00 2.54	3.13 2.45	3.30 2.36	3.60 2.22
3	3.15 2.87	3.22 2.82	3.31 2.75	3.46 2.65	3.67 2.54	4.10 2.37
4	4.26 3.77	4.38 3.68	4.56 3.56	4.86 3.40	5.27 3.24	6.25 2.95
5	5.42 4.64	5.62 4.50	5.91 4.33	6.41 4.09	7.16 3.84	9.03 3.46
6	6.72 5.43	7.10 5.22	7.36 5.07	8.60 4.62	10.03 4.24	15.10 3.74
8	9.34 7.00	10.00 6.71	10.61 6.42	13.40 5.72	18.00 5.15	42.00 4.43
12	15.20 10.10	17.30 9.20	19.03 8.27	30.80 7.45	75.40 6.54	∞ 5.42
30	56.00 19.50	76.70 16.90	∞ 15.61	∞ 11.80	∞ 9.61	∞ 7.45
∞	∞ 55.40	∞ 38.80	∞ 27.70	∞ 19.40	∞ 14.10	∞ 8.40

ペトリ7露出計連動範囲表

(フィルムの感光度ASA 100のとき)

FN _o LV	2.8	4	5.6	8	11	16
7	15	8	4	2	1	
8	30	15	8	4	2	1
9	60	30	15	8	4	2
10	125	60	30	15	8	4
11	250	125	60	30	15	8
12	500	250	125	60	30	15
13		500	250	125	60	30
14			500	250	125	60
15				500	250	125
16	シャッター速度 (1/X)				500	250
17						500

フラッシュ同調表

フラッシュバルブ の種類	接点切替	
	M	X
M 級	全速度同調	1/60秒まで
F 級	不同調	1/60秒まで
ストロボ	不同調	全速度同調